

## 東京都立大学附属高等学校同窓会 2020年度下期「理事・監事・評議員会議」議事録

「2020年度下期理事・監事・評議員会議」は2021年1月31日に開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに伴う緊急事態宣言が出ている状況を考慮して中止され、議事は、メールおよび郵送にて議案書を配布し、メール、FAX、郵便により、ご意見、質問などをお寄せいただき、さらに2月28日に Zoom によるオンライン会議を開催して成立しました。

### 議案1 2020(令和2)年度事業報告(2020. 4. 1~2020. 12. 31)

昨年3月以降の同窓会活動は会報の発行を除き完全にストップしています。

したがって報告事項は下記のようにほとんどありません。

- ① 会報の発行(2020年6月30日発行)  
印刷部数 9,000部  
発送部数 国内会員8,143部 特別会員(恩師)155部  
海外在住会員96部(コロナ禍で3名保留、1名 PDF 送信)  
桜修館教職員・PTA・生徒に配布200部
- ② 第72回記念祭(2020年9月5日、6日) 中止
- ③ 第8回「八雲が丘賞」  
桜修館より本年度の八雲が丘賞の選定は来年度まで持ち越しとしたい旨の申し出があり、第8回の授賞および表彰は次年度に行われることとなった。
- ④ 八雲が丘学友会  
本年度の第1回会合が延期となったまま会議は開催されていない。
- ⑤ 桜修館、桜修館同窓会の現況  
昨年は、合唱コンクール、クラスマッチ、記念祭、修学旅行などすべて中止、または延期となっている。夏休みも2週間という変則的な日数となり、休校が解除された後も時差登校などの対策を取っている。  
桜修館同窓会は総会の開催を予定していたが、中止となった。
- ⑥ 第6回「八雲が丘ホームカミングデー」  
第20期生と45期生が対象で、10月18日(日)にめぐろパーシモンホールで開催予定だったが、感染症予防の観点と、パーシモンホールの厳しい感染症対策ガイドライン(人数制限、参加者間の距離2m、衝立の設置など)、および桜修館の受け入れ態勢の難しさを考慮し、中止した。
- ⑦ 「八雲が丘文庫」の再整備  
10月1日からの寄贈本の受け入れ再開について桜修館と合意しているが、感染症対策を優先して寄贈本の整理その他の作業が止まっている。
- ⑧ 会議  
2020年3月13日 拡大会報編集委員会、中止  
5月14日 2019年度会計監査

7月6日 2020年度上期「理事・監事・評議員会議」、中止  
2021年1月31日 2020年度下期「理事・監事・評議員会議」、中止

## 議案2 同窓会の財政状況

現時点での会費の振り込み状況は、1273人＝2,546,000円。支出はホームカミングデーの中止、記念祭の中止、八雲が丘賞の授賞延期、などにより大きく減少した。会報費192万円強が支出の85%を占め、次いで会費の収納手数料31万円余り、この二つで支出の大半を占めている。収支は30万円余りの黒字が見込まれる。新型コロナによる同窓会活動の停滞が財政状況の改善に役立っているのは皮肉ではある。

会費の収納手数料を引き下げられないかとの意見が出され、検討することになった。現在の手数料は、ゆうちょ口座への払込票による納入手数料と、コンビニの収納代行手数料である。

## 議案3 今後の活動計画（2020年度下期および2021年度）

この下期および来期の活動は、新型コロナ感染症の状況によって大きく変わる可能性があります。以下は感染拡大が抑えられ、日常活動が再開できるようなるとの想定のもとでの計画です。

### ① 同窓会報の発行

2021年6月30日発行予定。A4判12P。

印刷予定9,000部、配布対象＝会員・特別会員約8,500部、

桜修館関係200部、桜修館同窓会40部

編集委員会 3月12日(金)予定

編集委員会は3月12日を予定しているが、コロナの状況により微妙である。

工程は、例年通り4月30日原稿締め切り、5月編集作業、6月組版、校正、印刷製本、発送。

例年の会報は、「ホームカミングデー特集」「記念祭グラフ特集」「八雲が丘賞報告」で5～6ページを占め、同期会・クラス会報告が2～3ページあるが、この号はそれらの原稿がすべて見込めない。したがって会報の内容について十分に検討する必要がある。

### ② 名簿の管理(2021年1月30日現在)

会員総数 14,351名 (重複が2名あり、前回より2名減)

住所判明者 8,172名 (海外在住89名、会報受け取り拒否55名、特別会員との重複2名含む)

死亡 740名、住所不明 5,439名

特別会員(恩師) 296名

住所判明者 152名、死亡71名、住所不明73名

### ③ 第72回記念祭への参加、出展計画

(昨年の「第72回」が中止、「第73回」という扱いになることもあり得る)

例年同様 B 棟201講義室に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展する。

府立高校以来の3校の年表掲出、資料・写真の展示、DVDの放映、日曜に「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌」合唱イベント実施。  
都大附高時代の資料、写真の収集努力を強化し、展示拡大に努める。

④ 第8回「八雲が丘賞」

今回は、2019年度と2020年度、2年分の活動が対象となる。

3月末に、桜修館に団体または個人の推薦を依頼する。受賞候補がでたところで、7月3日の理事会または持ち回り理事会で、授賞者・団体を決定する。

⑤ 第6回「八雲が丘ホームカミングデー」の実施

昨年中止となった第6回ホームカミングデーの対象だった第20期、45期と、今年卒業50年、25年を迎える第21期、46期を、合同で「第6回八雲が丘ホームカミングデー」として開催したい。分けて2回開催することも考慮するが、会場の抽選結果次第である。会場はパーシモンホール・小ホールの確保に努める。

開催の時期は9月末、10月、11月のいずれか。3回とも抽選に外れた場合は、桜修館多目的ホールを会場とする。懇親会の会場については検討課題とする。

⑥ 同窓会定期総会

今年は3年に一度の総会の開催年なので、前回同様10月のいずれかの日曜に設定する。開催会場は桜修館の多目的ホール、開催日については桜修館の事業予定との関係で決定するが、10月17日ないし24日を想定する。今回は総会の後に懇親会を開きたい。総会14時～15時半、懇親会15時半～17時。懇親会場は参加人数にもよるが「YAKUMO111」が候補。

総会の開催告知は6月30日付の同窓会報で行うが、新型コロナウイルスの感染状況によっては延期も考えられるので、会報編集時点で最終的に判断する。

⑥ 八雲が丘文庫の再建、卒業生著書収集の再開

現在、桜修館との間では以下の①～⑤の内容で合意しており、同窓会として早急に担当者を決める必要がある。ただし現時点では感染予防の観点から、学校への出入りをできるだけ控えており、自由にメモリアルルームに出入りできるのがいつになるか不明である。

ロッカーの購入、寄贈本貼付用ステッカー(ラベル)の作成が必要となっている。

①同窓会内に八雲が丘文庫担当を置く。担当者は定期的に桜修館で寄贈本の整理にあたる。いずれ文庫所蔵の寄贈本のリストを作成する。

②寄贈本は、桜修館の担当副校長がメモリアルルーム内の八雲が丘文庫用ロッカー(新設)で一時保管する。

③寄贈本は卒業生自身の著作に限り、2種1冊ずつ計2冊までとする。

④寄贈本には、八雲が丘文庫の特製ステッカーを張り、扉内に何年の卒業生であるかを明記する。

⑤寄贈本の展示場所は桜修館と相談のうえ、図書室以外にも置けるようにする。貸し出しは自由とする。

⑦ 八雲が丘学友会の活動と桜修館同窓会との連携

学友会の定期会合は、感染症の影響がなければ、これまで通り年4～5回の開催と

したい。桜修館同窓会の参加で若年向けの新たな活動ができないか検討する。桜修館の現役自治会役員などとの交流も拡大する。

昨年4月以降会議は開催できなかったが、今年の2月13日に Zoom ミーティングの形で開かれた。

⑧ 今後の会議などの予定

1月31日(日) 2020年度下期「理事・監事・評議員会議」(メール、郵便審議)

3月12日(金) 拡大会報編集委員会

例年通り原稿締切りは4月末、5月に編集割り付け。

「懐かしの恩師」「部活の思い出」「随筆」などの原稿が必要。

5月上旬 2020年度会計監査

7月3日(土) 2021年度上期「理事・監事・評議員会議」

9月初旬 記念祭準備、第72回記念祭

10月 同窓会定期総会

10～11月 第6回「八雲が丘ホームカミングデー」

**議案4 その他**

＜継続＞同窓会執行部の体制について

役割分担の再検討と二人担当制

以 上